

第1回真田地域協議会 会議録

日 時	平成19年5月31日(木) 午後7時から午後9時まで
会 場	真田地域自治センター3階 301会議室
出席委員	一本鎗武志委員、上原和彦委員、内田雅久委員、大久保秀則委員 桑田まなみ委員、小金敏展委員、小林友美委員、坂口恒子委員 佐藤和雄委員、清水潤委員、花岡静枝委員、堀内美子委員
欠席委員	三井勇二委員、宮下蘭子委員、武捨純子委員、山崎隆喜委員 飯島功委員、佐藤公至委員、村本貴代春委員、山崎寿雄委員
市側出席者	小市センター長、センター全課長 渡辺センター次長兼地域振興課長、塚田係長、宮島主査

- 1 開会(佐藤副会長)
- 2 会長あいさつ(清水会長)
- 3 真田地域自治センター長あいさつ(小市センター長)
- 4 協議会委員の変更について(報告)
 - 新委員、継続委員の自己紹介 -
 - 自治センター職員の自己紹介 -
- 5 会議事項
 - (1) 平成19年度真田地域自治センターの重点目標について〔資料1〕
 - (会長)

重点目標の説明をお願いします。
 - (センター長、全課長)

- センターの重点目標及びセンター各課の課題・目標を説明 -
 - (会長)

只今説明がありました。委員の方からご意見を伺います。
 - (委員)

産業観光課にお聞きしたい。NHK大河ドラマ「風林火山」の影響によって真田氏発祥の郷である当地域の史跡には多くの観光客が訪れている。観光客の駐車場について、長谷寺、御屋敷跡では大型バスを停めるところがなく苦情が多いと聞いているが、その現状をセンターはどう考えるか。
 - (産業観光課長)

大河ドラマの影響から観光客が増加していることは認識しています。駐車場の整備については、今の来客者数が一過性のものなのか、継続的なものなのかを見極め検討していきます。
 - (委員)

今年だけでなく、長い目で見て整備を進めていただきたい。

(委員)

廃棄物(ゴミ・資源物等)の新たな処理方法について、旧真田町の分別方法はとても厳密になっているものと私は理解している。平成20年4月からの統一される新しい分別方法の見通しとして、現在の真田地域の方法で概ね良いのかをお聞きしたい。

また、産業観光課の県営中山間地域総合整備事業として、上洗馬農村公園の整備が本年度に進められることが分かった。これに類似するプランニングが他にもあると聞いているがその見通しを聞きたい。

(市民生活課長)

真田地域のゴミ分別方法について何か変更があるのかというご質問をいただきました。今、審議会で審議されているところですが、大枠では変わらないと思われま。ただ、今まで有料指定袋に入れて出しているカン・ビン・ペットボトル等は、リサイクルのため「資源物」に移行されることとなります。この資源物の回収には各自治会で月1回程度の収集の立会いをお願いすることとなります。またライター・カセットボンベなどの「危険ごみ」が新設され、資源物回収時に出すようになります。

危惧しているのはごみ袋の色です。調整されている最中ですが、従来の真田地域の色とは変わってしまうかもしれません。

(委員)

概ね変わらないけれど、ペットボトルなどは有料指定袋に入れなくて「資源物」として出すことと、危険なゴミの取り扱いが変わるということが分かりました。

各自治会における啓発活動は、条例が決まった段階でしっかりやっていただけということですね。

(市民生活課長)

条例制定後に自治会単位で説明会を開催します。また、その他団体からの要望があれば説明に伺いたいと考えています。

(会長)

この資源物の回収で得た金額が、各自治会にバックされることが旧上田市であったと聞いているが審議会でそんな議論はされているのか。

(市民生活課長)

これも審議会で審議中ですが、資源回収奨励金(仮称)として、その重さによって交付できればと検討されています。

(産業観光課長)

県営中山間地域総合整備事業の上洗馬農村公園整備に類するその他の事業予定ということですが、計画に上がっているのは、山崎の準備休憩施設で地元と話し合いながら現在進めているところです。

(委員)

市民生活課の目標として総合窓口案内の充実とある。日ごろ、職員の態度が悪いということをよく聞きます。市民生活課だけの問題とするのではなく、自治センター全体の問題として取り組んでもらいたい。ゆきむら夢工房(振興公社)の来客者への対応が良くないこともよく耳にするので改善してほしい。このことは、私だけが感じているのではなくて皆さんが感じていることとして認識してほしい。

自校給食を無くすような雰囲気になっていると聞いた。真田地域の自校給食を今後も守っていただきたい。

真田地域の水洗化率は現在どうなっているのかお聞きしたい。

(センター長)

窓口対応については、昨日のセンター課長会議でも話し合ったばかりです。お恥ずかしい話ですが、本庁でも問題となっているというのが現状です。センターや行政機関には、たまにお越しなるお客様が大半だと思います。市民生活課でも手作りマニュアルをつくって対応しているところですが、さらに全職員に徹底して、住民の皆さんに評価していただけるように取り組んでまいります。

(教育事務所長)

真田地域の学校給食設備は全てドライシステム化していますし、県内に5名だけ配置されている栄養教諭が真田中学校に配置されているなど、現在もすばらしい体制を維持しています。先日も県教育長以下6名が訪れて自校給食等に対して評価をいただいているなかで、自校給食がすぐに無くなることはありませんし、継続するよう今後も取り組んでいきます。

(下水道課長)

真田地域の水洗化率は平成19年3月31日現在、菅平処理区で94.9%、真田処理区で83.6%です。3つの農業集落排水は90.7%となっています。

(委員)

長地区の水洗化率が低いと聞いています。PRはどうなっているのか。

(下水道課長)

平成16年、全旧町的に接続していない方に対して接続依頼を通知し、同時にどうして接続できないのかといったアンケート調査を実施しました。現在は、市上下水道局広報誌によるPRを実施しています。

(委員)

魅力ある菅平地域の再構築として放送通信環境の調査とあるが、これは菅平地域に限ったことなのか。他の地域はどうなるのか。

(地域振興課長)

本年度、高速情報通信基盤の整備が遅れている菅平地域の情報通信基盤の対応方法についての調査・研究を実施します。どういう方法が一番良いのかをこの調査を通じて探ってまいります。テレビ等の難視聴地域については、真田地域内全てで調査を実施します。

(委員)

旧真田町にあった青少年健全育成団体は、新聞を出すなど積極的な活動をしていたにもかかわらず合併と同時に自然消滅した。今、真田地域としての青少年健全育成団体は1つも立ち上がっていない。

現在、真田地域では横沢地籍と地蔵峠下チェーン着脱所の2ヶ所に有害図書自販機が設置されている。以前は青少年健全育成団体から土地所有者に対して、設置業者との土地賃借契約の更新をしないでほしいと依頼するなどの活動を展開していた。丸子地域・東御市でも有害図書自販機が増えているなかで、次には真田が狙われているのではないかと。これらに対して活動できる団体を早期に立ち上げなければいけないと思うがいかがか。

(教育事務所長)

合併に伴って真田地域の青少年健全育成団体はなくなってしまっております。有害図書自販機への対応をひとつの例にしてもこの組織は重要であることから、今後、地域の組織の立ち上げを検討していきたいと考えます。

(委員)

出早自治会には、消防団の組織がありません。今後、自治会に新たに団をつくるとか、他の自治会の部への加入を指導されるのか等、自治会にどのような働きかけがあるのか。消防協力費のあり方について自治会と協議するというが、具体的な原案はあるのか。どのようなすり合わせが必要で、どこが音頭をとってやるのか。

(消防課長)

現在、真田地域の6自治会には消防組織がありません。三島平自治会の場合、戸数20のため団員確保ができないため自主防災組織を編成して対応している例があります。

今までの部の活動は自治会単位に行われ、予算の負担も自治会毎とする形態でした。今回の消防団組織の変更に伴い、分団単位という組織になりましたので、団員は分団に所属することになり、分団ごとに団員の勧誘が行われると思われれます。分団運営の詳細については、分団と各自治会とで今後協議していくこととなります。

消防団活動協力費については、消防防災課がメインとなって自治会、分団と調整を進めていきます。

(委員)

いつからスタートするのですか。

(消防課長)

現在資料作成中ですが、早期に方向性を出したいと考えています。しかし、自治会との相談する時間も必要になりますので、当課としては、2年くらいを目安に統一できればとは考えています。

(会長)

他にありますか。なければ次の議題に移ります。

(1) 上田市図書館基本構想の中間報告について〔資料2〕

(会長)

事務局より説明をお願いします。

(教育事務所長)

- 上田市図書館基本構想中間報告書(5月25日報告)の内容説明 -

8月に予定されている最終答申に基づいて、市としての決定がなされていくわけですが、地域の重要案件として当然協議会に諮られる事項かと思われれます。真田地域にふさわしい図書館を早期に設置するためにも地域としての意見を早急にまとめていくことが必要と思われれます。

(会長)

旧真田町から課題であり、新市建設計画にも掲載され、先般の総合計画の答申内容にも関わる大切な問題です。中間答申の付帯意見【・・・施設整備が必要な各地域において地域協議会を中心に論議を深めていただくことを希望する。】にもあるように、この地域協議会で議論を深める必要があると考えます。

したがって、次回からこの図書館の問題に絞って議論を進めて参りたいがいかがでしょうか。

(全委員)

異議なし

(会長)

それでは、これに関する資料の提出を行政に求めながら協議を進めていきたいと思ひます。

(3) 地域協議会の運営について〔資料3〕

(会長)

事務局をお願いします。

(事務局)

- 真田地域協議会 年間スケジュール表〔資料3〕の説明 -
諮問事項として

- ・新市建設計画の変更
- ・各種計画の策定に係る地域計画等に関する事項
- ・固有の地域に限定される計画策定に関する事項 等

意見を聞く事項として

- ・合併協定書（合併協定項目）の合意事項の見直し
- ・重要な公共施設の設置・廃止に関する事項
- ・地域振興事業基金の活用に関する事項
- ・特に必要と認められる事項

調査研究する事項

- ・真田地域まちづくり方針を具体化する具体的な施策提案
- ・まちづくり拠点施設の役割・機能の検討
（地域自治センターの空きスペースの活用策の検討）

協議会の開催日について、昨年度は平日の月曜日から木曜日の午後7時からとしていましたが、本年度もこれで良いか、ご検討をお願いします。

(会長)

まちづくり拠点施設としてのセンターの空きスペース利用の問題がありますがどのように進めていきましょうか。

(事務局)

図書館建設とセンターの空きスペース活用は関わってくる問題と考えますので、併せてご検討いただいて良いのではないかと思います。

(会長)

先ほども申しましたが次回は、図書館整備について協議したいと思います。

さて、昨年度は、月曜日～木曜日の夜7:00からこの会を開催してきましたが今後はいかがでしょうか。

(委員)

第何週の何曜日と決めたほうが良いのではないかと。

(事務局)

昨年も他の委員から同じようにご意見をいただきました。毎月1回はあくまでも原則であり、協議案件・諮問案件の内容によっては月2回開催することも考えられます。協議の日程的な面からも月の第何週と指定しないほうが良いと考えます。できるだけ多くの委員の参加をお願いしたいことから都合の悪い日等をお聞きするなかで開催日を決めたほうがよいと事務局では考えますがいかがでしょうか。

(会長)

この週のこの日はダメだという委員さんがいれば、その日をできるだけ避けたいと思います。運営上の関係もありますので、委員の予定を事前に教えていただくような方法でお願いしたいと思います。

(委員)

6月の協議会の日時を大まかな予定でもよいから教えてほしい。

(事務局)

6月は市議会があることから、次回は6月20日から月末までの間に計画したいと考えます。

6 その他

(教育事務所長)

『真田町立図書館「コミュニティライブラリー」基本計画(H15.11.27)』をお配りします。旧真田町の計画ですので、合併等により変わってきている部分もある内容かと思いますが、今後協議会で協議していただくうえでの参考にしていただければと思います。

(会長)

昨年も皆さんに相談したことですが、この会議の内容については上田市のホームページ(地域協議会)で、どんな質疑応答があったのかを公開しています。昨年の地域協議会の連絡会議において委員名を掲載すべきとの意見がありました。私としては、このような席に慣れていない方もいるので公開しないようにと申し上げましたが、他の全協議会では個人名公開の方向に進んでいるようです。真田としても公開に向けた話し合いが必要なのかと考えています。また機会をみつけて皆さんにご相談させていただきます。

(会長)

事務局から他にありますか。

(事務局)

特にございません。

7 閉会(佐藤副会長)